



HOKKAIDO UNIVERSITY

AMBITIOUS LEADER'S PROGRAM

Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science

Ambitious 物質科学セミナー

エクソソームを基盤とした薬物送達技術 の開発と機能性ペプチドの利用

中瀬 生彦 教授

(大阪府立大学大学院理学系研究科)



令和2年11月17日(火) 16:00~17:00

「Zoom」によるオンライン開催

ミーティング ID: 963 5632 7404

パスコード: 7N78s9



生体を構成する殆ど全ての細胞が分泌するエクソソームは、細胞膜で形成された小胞（直径 30 ~ 200 nm）であり、microRNA や酵素等の生理活性分子が内包されている。エクソソームは疾患診断に加えて、その薬学的な優位性により次世代の薬物送達ツールとしても世界的に大きく注目されている。我々は、機能性ペプチド修飾型エクソソームを基盤とした細胞内導入技術の開発を展開しており、マクロピノサイトーシス誘導や移行促進、がん受容体を介した細胞標的、細胞内でエクソソーム内包薬物の効率的なサイトゾル放出等の薬物送達に役立つ新たな機能付加に成功している。本講演では、これまでに得られた基盤技術・知見の紹介と、基礎研究・疾患治療への応用に関する議論を行う。

本講演は、大学院総合化学院『化学特別講義（生物化学特別講義 2020）』の一部として認定されています。

連絡先：北海道大学大学院理学研究院化学部門 坂口 和靖

(Tel: 011-706-2698, Mail: kazuyasu@sci.hokudai.ac.jp)

